

肥育牛への飼料イネ給与と血漿中ビタミンA濃度

肥育牛への飼料イネ給与試験については、第20号で紹介しました。

農家で、肥育牛に飼料イネを給与する際に、最も気になるのは血漿中ビタミンA濃度の推移です。今回は、この「気になる点」について、現在までにわかっている結果を紹介します。

表1 飼料設計

飼料名		飼料イネ 給与区	対照区
濃厚飼料 配合割合 (原物%)	配合飼料	41.0	80.0
	一般フスマ	20.0	20.0
	圧ペン大麦	18.0	-
	圧ペントウモロコシ	18.0	-
	全脂大豆	3.0	-
濃厚飼料割合(乾物%)		65.0	80.0
細切稲ワラ割合(乾物%)		20.0	20.0
飼料イネサイレージ割合(乾物%)		15.0	-
給与飼料全体 の成分値 (乾物%)	D M	75.8	87.2
	TDN	72.0	73.1
	C P	12.4	12.7

表2 13ヵ月齢の給与量

(単位:原物 kg)		
	飼料イネ給 与区	対照区
濃厚飼料	6.48	7.40
稲ワラ	1.94	1.90
飼料イネ	2.74	-
計	11.16	9.30

飼料イネホールクロップサイレージは、8ヵ月から13ヵ月齢まで給与。表2は、飼料イネサイレージ給与量が最大の時の給与量を示した
配合飼料は、ビタミンA無添加飼料を使用

ビタミンA濃度
(IU/dL)

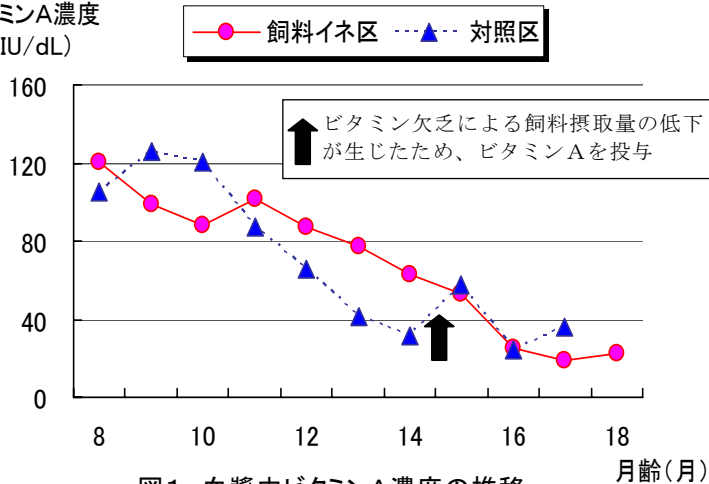


図1 血漿中ビタミンA濃度の推移

表3 体重および増体量

(単位:kg)			
	月齢 (月)	飼料イネ 給与区	対照区
開始時	8	247.8	249.0
前期終了時	13	389.8 *0.92	409.3 *1.03
前期中間時	16	461.8 *0.90	482.7 *0.97
中期終了時	19	540.0 *0.87	552.0 *0.90

数字の上段は体重、*(下段)はDG

給与飼料や体重の推移などの結果も併せて示しましたが、血漿中ビタミンA濃度は、飼料イネを給与した群のほうが高く推移しました。しかし、飼料イネを給与しても、ビタミンA濃度は低レベルにあり、ビタミンコントロールは可能と判断されました。

(肉牛研究室 櫻井由美)